

福山市老人大学 2016年度(第46期)

ボランティア育成講座開講式での学長挨拶

7月28日 午前10時

今年も開講のご案内をいたしましたところ、熱心な学生さんのご参加をいただきました。

この講座は今年で9回目を迎えました。この講座を受講された老大学生の皆さんが、ボランティアクラブを立ち上げ、活動を積み重ねてくださっています。

まずは高齢者施設を訪問し、傾聴や楽しい演技の披露などで、入居者に喜んでいただいています。

また、多くの学生の協力を得て、リングプルとペットボトルのキャップの収集を行い、車いすと開発途上国の子どものワクチンの購入資金として使われています。

さらに、熊本地震災害の復旧活動、福山の大雨災害の泥かき作業に参加された方もおられます。

そして、それぞれの学生が、各地域で様々なボランティア活動に取り組んでいただいています。

このようにこの講座は、「学習から行動へ」との初期の目的を相当程度達成したのではと受け止めています。

我々は、これから先、ボランティアのお世話になっていく年齢にあります。しかし、ボランティアの出来る体力のある今は、相互扶助の精神を行動に移せる幸せを共有していきたいと存じます。

ボランティアの心と技を改めて学習していただき、活動の充実に生かしていただきますことをお願いして、開講にあたっての挨拶といたします。